

発車メロディーの短縮化が駆け込み乗車行動に及ぼす影響

山内香奈 藤浪浩平 鈴木浩明

駆け込み乗車行動の抑止効果を狙いとして、駅で使っている発車メロディー1曲の長さを短かくするという実験的施策を打ち、その前後で駆け込み乗車行動の発現数の変化を調べた。その結果、オフピーク時間帯では、駆け込み乗車行動が抑制される可能性が示唆された。ただし、抑制効果の程度については駅間で差がみられ、更にデータをとるなどして検証を重ねる必要がある。また、ピーク時間帯では効果が見られなかったことについては、旅客数の多さと関係していることが推察された。ピーク時間帯では、乗降客が多く、走りたくても走るスペースがない時間が多くなる。そのため、駆け込み乗車行動の誘発要因と考えられる複数の要因のうち、発車メロディーの相対的な影響度が小さくなることが考えられる。したがって、首都圏の高密度線区の駅のように旅客が極めて多い場合には、オフピーク時間帯であっても抑制効果は低くなる可能性もある。

(鉄道総研報告, 2008年7月号)

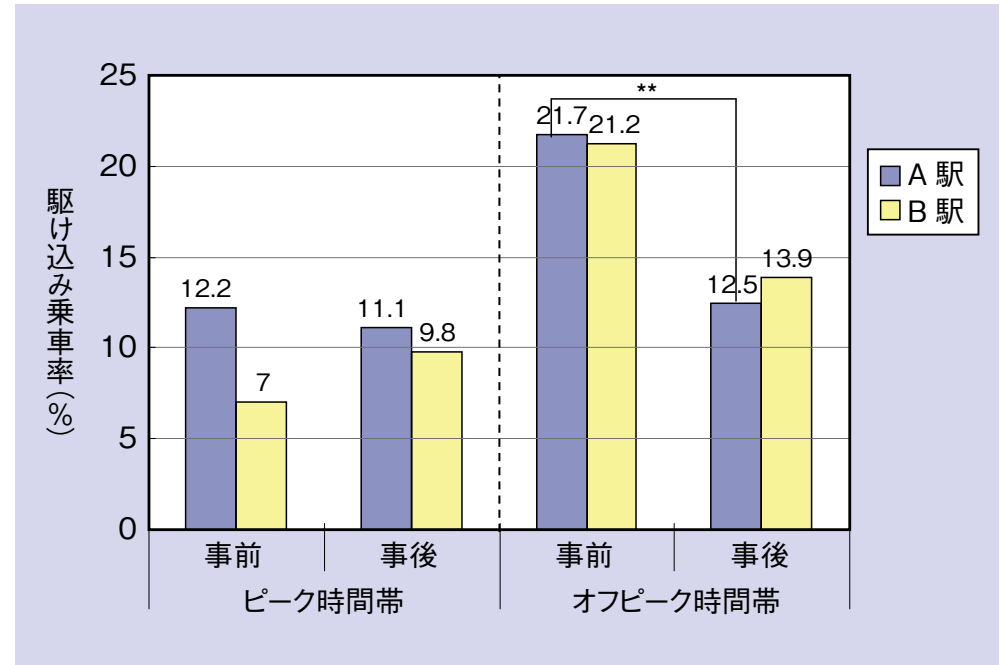


図 実験的施策を打つ前後での駆け込み乗車率の変化